

(共同リリース)

2026年6月26日

株式会社 Soracle

公益社団法人 関西経済連合会

Soracle と関西経済連合会が空飛ぶクルマの関西における 社会実装の実現に向けた連携協定を締結

～相互連携と協働により、関西での空飛ぶクルマの社会実装の早期実現に向けた活動を推進～

株式会社 Soracle(以下、Soracle)と公益社団法人関西経済連合会(以下、関経連)は、両者による相互連携と協働による活動を推進し、関西における空飛ぶクルマの社会実装を早期に実現することを目的として、空飛ぶクルマの関西における社会実装に向けた連携協定(以下、本協定)を 2026 年 6 月 16 日(火曜日)に締結しました。



(左から)Soracle 佐々木敏宏 代表取締役、関経連 久米一郎 常務理事・産業部長、Soracle 太田幸宏 代表取締役

1. 本協定締結の背景と目的

Soracle が空飛ぶクルマの運航事業者として大阪・関西エリアにおける商用運航開始をめざす一方、関経連は、2025年日本国際博覧会(以下、大阪・関西万博)開催から10年後となる2035年時点での関西における空飛ぶクルマが実装された具体的な未来の「ありたい姿」や、2030年時点における「あるべき姿」を、「関西における空飛ぶクルマの将来ビジョン」(*1)として取りまとめております。大阪・関西万博における空飛ぶクルマの各種取組みをレガシーとして継承しながら、大阪・関西の地における社会実装と産業化を他の地域に先駆けて実現することをめざす姿勢を全国に示すことで、空飛ぶクルマ事業への更なる企業参入や官民による投資の呼び込み、広域観光などの産業の発展に繋げ、ひいてはわが国が直面する社会課題の解決と経済成長に寄与したいという想いが一致し、本協定の締結に至りました。

今後、本協定に基づき、Soracle と関経連は、本年 3 月 31 日に設置された未来創造会議や 5 月 8 日に設置された大阪港バーティポート推進コンソーシアムなどの機会も活用しながら、全国に先駆けた大阪・関西での早期の社会実装をめざして相互に情報および意見交換に努め、関西およびその周辺地域における空飛ぶクルマの初期運航ネットワークの形成や、関西地域での空飛ぶクルマのエコシステム形成に協働で取り組んで参ります。

2. 合意書締結日

2026 年 6 月 16 日(火曜日)

3. 主な合意内容

本協定締結の背景・目的を踏まえ、本協定の下、以下の事項について両者で相互に連携して取り組みます。

- (1) 関西地域およびその周辺地域における空飛ぶクルマの初期の運航ネットワーク形成に関する事項
- (2) 関西地域での空飛ぶクルマのエコシステム形成に関する事項
- (3) その他、本協定の目的に資する事項

【会社概要】

株式会社 Soracle

設立:2024 年 6 月 3 日

代表者:代表取締役 太田幸宏・佐々木敏宏

所在地:東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16

概 要: Soracle は、次世代の空の移動手段である空飛ぶクルマを活用し、持続可能かつ、より身近な空の移動手段を提供することを目的とし、日本航空株式会社と住友商事株式会社の合弁により設立した運航事業会社です。新しい空の移動価値を創造し、社会と人々の生活を豊かにすることをめざしています。大阪・関西万博でのモデル機体展示イベント“Future Sky Experience”や、2026 年度の実施をめざす大阪ベイエリアでの実証フライトといった取組みを機運醸成のレガシーとして引き継ぎながら、機体の開発状況や型式証明の取得状況を見極めつつ 2027 年以降の空飛ぶクルマの社会実装をめざしています。

公益社団法人関西経済連合会

設立:1946 年 10 月 1 日

会長:松本正義(住友電気工業(株) 取締役会長)

所在地:大阪市北区中之島 6 丁目 2 番 27 号

概 要: 関西経済連合会は、常に関西全体を意識し、委員会などでの企業人の活発な議論を源泉に、先取性や独自性に富んだ調査研究活動を行い、これに基づく政策提言や実践的アクションにより、関西から日本経済ひいては世界の発展をめざしていくことを使命として活動しています。主として関西一円において経済活動を展開している企業、団体、学校法人など約 1,300 が会員となっています。

■ 万博レガシーを実装フェーズへ

空飛ぶクルマのビジネス化に向け、Soracle の株主である日本航空株式会社は、2025 年日本国際博覧会(以下、大阪・関西万博)において、未来の空を描いたイマーシブシアター「そらクルーズ」(*2)を提供しました。Soracle もまた、実機サイズの eVTOL モデル機展示(*3)を実施し、未来の空の実現に向けた第一歩を踏み出しました。さらに、「そらクルーズ」については、住友商事株式会社および大阪市高速電気軌道株式会社(Osaka Metro)とも連携し、2026 年 3 月に大阪港バーティポートにおいて「空クルラボ特別企画 大阪・関西万博イマーシブシアター SoraCruise」(*4)として期間限定公開を行うなど、Soracle はこれまで、早期かつ円滑な社会実装の実現に不可欠となる各種社会受容性向上施策に取り組んで参りました。

本協定は、大阪・関西万博を含むこれまでの取り組みで醸成された機運をレガシーとして活かすとともに、昨年 9 月に Soracle が大阪府及び大阪市との連携協定締結の場でも公表した、大阪湾岸地域での全国に先駆けた商用運航開始に向けた各種準備を更に加速させることに繋がるものです。Soracle および関経連は、大阪・関西万博で高まった空飛ぶクルマの実装に対する機運を維持・向上し、関西における早期の社会実装と、その先に見据える社会的・経済的価値創造に共に取り組んで参ります。

(*1)2026年 3 月 25 日付関経連プレスリリース「関西における空飛ぶクルマの将来ビジョン」策定について

<https://www.kankeiren.or.jp/material/260325release.pdf>

(*2)2025 年 3 月 13 日付 JAL プレスリリース「JAL、大阪・関西万博でイマーシブシアター「そらクルーズ」を開設」

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202503/008696.html>

(*3)2025 年 6 月 4 日付 Soracle プレスリリース「Soracle、大阪・関西万博で空飛ぶクルマ “Midnight” 実機サイズ・モデル機を展示」

<https://www.soraclecorp.com/press/250604/>

(*4)2026 年 2 月 13 日付 Soracle プレスリリース「イマーシブシアター「そらクルーズ」を大阪港パーティポートに開設」

<https://www.soraclecorp.com/press/260213/>